

# 令和4年度 学校自己評価システムシート ( 県立熊谷女子高等学校 )

目指す学校像	1 自主自律の精神と豊かな人格を有し、次世代の社会をリードする心身ともに健康な生徒を育成する。 2 地域に信頼される伝統ある進学校として、生徒の第一志望の進路を実現させる。
--------	---

重点目標	1 第一志望を最後まであきらめさせない、粘り強くきめ細やかな指導の徹底。 2 新学習指導要領に基づく、主体的・対話的で深い学びの実現と評価の実践 3 「オンライン連携講座事業」「データサイエンス・AIリテラシーを活用できる高校生育成事業」の取組を活かす、ICTを活用した個別最適な学びの研究と試行
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	9名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 2 月 1 日 現 在 )		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
1	【現状】 計画的かつきめ細かな指導により国公立を含めた難関大学への合格者は増加している。 【課題】 大学入学共通テスト平均点が伸び悩んだ。第一志望校への進学を一般受験で実現できる実力の育成と、更なる進学実績の向上を目指す指導に学校全体で組織的に取り組む必要がある。	進路指導の充実と進学実績の更なる向上	①学年と進路指導部、各教科が連携し、組織的できめ細やかな進路指導を展開。 ②大学入学共通テストの研究、教科指導の工夫改善による学力の向上 ③最新の進路情報の収集と生徒への提供 ④課業日の補習や全教員での小論文・面接指導、オンライン連携講座事業を活用した、多彩な夏季補習等による学習支援の充実	①第1志望・準第1志望の進学実績が向上したか。(生徒アンケート) ②国公立、早慶上理G-MARCH合格者数が前年比上昇したか ③進路日より等、工夫した進路情報発信を何回行ったか ④補習授業の講座数や参加生徒数は増加したか	①指定校・公募推薦等で国公立10名私立49名合格。大学入学共通テストは96.7%が受験。前年比微増。 ②第1志望国公立は37.3%(+6.3%)埼玉大・群馬大第1志望が増加。 ③大学説明会6回、分野別ガイダンス8回進路日より計58号、模試分析会実施 ④3年対象延べ40講座、1・2年対象のべ24講座、開講講座は例年並み。オンライン連携は8講座に生徒が参加	B 国公立第1志望の生徒が増加しているのは良い傾向。授業に集中して意欲的に取り組んだ生徒も82.7%。学力差が大きい現状を踏まえipadの導入・オンラインの活用等によるより効果的な学習支援の体制の構築と確実な進路実現、進学実績の向上に取り組む必要がある。
2	【現状】 学校行事等生徒は主体的に活動している。新学習指導要領に基づき観点別評価について評価基準等を決定し、生徒・保護者に公開した。 【課題】 生徒の自主的・能動的な学びや活動、主体的・対話的な学習を進める必要がある。観点別評価について研究を重ね、必要な修正を進めて定着を図る	自ら考え、主体的に学び、行動できる生徒の育成	①生徒会活動や委員会活動、部活動等、生徒の主体的活動の推進と支援 ②探究活動や「世界をリードする科学人材育成時事業」「データサイエンス事業」等を活用した主体的・探究的学びの推進 ③主体的な学びや、思考力・判断力・表現力の育成に資する授業の研究と実践 ④観点別評価に関する研究や教科内での共通理解・共通認識に係る継続的取組	①学校行事等における生徒の満足度はどうか ②大学と連携した学びはどのくらい行えたか。探究活動の発表に効果的に取り組めたか ③協調学習等は実践できたか。工夫した授業が実践されたか ④公平公正な観点別評価が実施できたか	①文化祭各企画平均満足度91.1% ②京大研修8名、お茶大訪問9名、東大訪問5名、日本薬科講座12名、高エネルギー加速器研究機構3名等の参加 ③初任教諭による協調学習、授業でのペア学習、グループ協議などのほか、探究授業でのポスターセッション、熊高とのデータサイエンス合同発表会実施(予定含む) ④観点別評価WGを中心に公正公平な評価となるよう検討を継続・実践。	A 学校行事等様々な活動をコロナ前の正常な状況に可能な限り回復させる必要がある。授業の工夫改善、特に生徒が自ら学び考え発信できる力の育成を継続して目指す必要がある。観点別評価による公平公正な評価については、引き続き検討継続する必要がある。
3	【現状】 1・2年生は全員がタブレットを購入しており、各クラス、各教科科目でGoogle classroomを作成し、授業で活用している。 【課題】 生徒の興味関心や学ぶ意欲を育てる授業の工夫改善を更に進める必要がある。ICTの活用や情報活用能力、課題発見・解決能力の育成が必要である	次世代に求められる情報活用能力、課題発見・解決能力の育成	①ICTを活用した授業の積極的展開 ②「オンライン連携講座事業」による、他校と協働した生徒の学習意欲向上の取組 ③「データサイエンス事業」による、課題発見・情報分析能力や課題解決能力の育成 ④オンライン学習を活用し、コロナ禍でも学びを止めない学習保障の展開。 ⑤教員相互の授業公開等による授業力の向上、改善	①教員はICT機器を有効に活用できたか。 ②他校の補習授業への参加数はいくつか(生徒は参加したか) ③業者と連携した効果的な取組が実践できたか(生徒アンケート) ④コロナ等長期の欠席者に同時配信の授業が提供できたか ⑤授業公開・見学を行う教員が増えたか	①授業でのICT活用は格段に増加。次年度は全生徒がipad購入予定 ②オンライン連携講座受講は3名8講座。他校から3講座13名参加。自治医科大オンライン講座3名参加 ③データサイエンスに80名が参加。2/6校内で2/14熊高と合同発表会実施予定 ④学びを止めないため、自宅待機者へのオンライン授業配信を毎日全科目で実施 ⑤年3回授業公開週間とし相互に授業公開。管理職の授業観察とフィードバック	A 全生徒ipad所有を活かす利用の拡大・発展策が必要。他校講座をより早く紹介できるように県と協議が必要自ら学び考え発表する探究活動の積極的取組が必要わかり易いオンライン授業の配信方法の研究・工夫改善等の継続的取組が必要授業見学会は定着。ICTの活用法の共有が必要
4	【現状】 自らを律して行動できる生徒が多く、地域からも評価・信頼を得ている 【課題】 生徒に寄り添った支援、指導を進め、地域に信頼される品格ある熊女生として学校生活を送らせる必要がある。また、生き生きとした生徒の姿を、中学生や地域に公開し、評価を高め、生徒募集にいかす必要がある。	生徒に寄り添った生徒指導や生活支援の充実	①整容指導や挨拶運動等に係る教職員、生徒、保護者が連携した計画的な取組 ②校内支援委員会を中心とした教育相談体制の充実と、個に応じた丁寧な生活支援	①生徒・保護者が加わった挨拶運動が何回実施できたか ②教育相談実施回数はいくつか。 ③転退学者数が前年比減少したか。	①学期初めに4週間実施。コロナの影響から保護者参加はできず。 ②17日延べ71回の教育相談を実施 ③転退学者数は前年比-5人に減少	B 保護者の現状も踏まえつつ挨拶運動への参加を促す教育相談体制の維持継続。早期相談実現への体制整備転退学者数の更なる減少
		学校の広報活動と生徒募集の充実	①ホームページの積極的更新による情報発信 ②学校説明会・学校見学会等の工夫・改善 ③小高、中高連携等の地域連携や、ボランティア活動等の取組の推進	①ホームページの閲覧件数は前年比増加したか。 ②入試倍率が前年比上昇したか ③地域連携が実施できたか。	①HP閲覧件数1日約4900件(+1400件) ②1月発表倍率1.03倍(前年比+0.04) ③小中学校への学習支援は実施できず。小学校とのスポーツ交流、子ども食堂での学習支援ボランティア、ロードサポート事業に美化委員が参加(花植え)	A HPでの継続的校情報発信、学校案内・説明会等、生徒募集の工夫改善が必要。学習ボランティア等、可能な地域連携、地域貢献に積極的に取り組む必要がある。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和5年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
大学説明会6回、分野別8回進路日より、補習授業など努力が見え、進路指導の充実を表している。授業に82.7%の生徒が集中しているのも素晴らしい。現役合格者数の増加、第一志望決定率の向上等素晴らしい成果である。ipadによる効果的な学習支援が楽しみである。今後も進学率向上の実績を残し、全生徒の自信に結び付けてほしい。	
行事満足度が91.1%と高く充実した高校生活であることを表している。大学と連携した学びや探究授業でのアウトプットまでの主体的な学びが力となる。生徒がテーマを決め決められた時間で発表する場面をさらに増やすことは重要データサイエンス発表会も充実させてほしい。主体的に学び行動できる力の育成は特に力を入れてほしいテーマである。	
ICT活用は不可欠であり全生徒の活用能力は必修である。ICTを活用した授業の積極的展開や他校との連携を深め、更なる学習意欲の向上に期待したい。授業力向上に向けた年3回の授業公開の取組は素晴らしい。研究協議による授業改善が力となってくるので期待したい。駿台サテットの導入成果を見てみたい。	
教育相談の実績は素晴らしい。生徒に寄り添った生徒指導は重要。人と人が直接触れ合う機会が希薄であり、引き続き、生徒への生活支援、教育相談等きめ細かい指導をお願いしたい。熊女の地域信頼度は高い。小中ボランティアだけでなく地域社会へ幅を広げてほしい。HPも充実し学校の発信が信頼に繋がる。地域憧れの学校でありたい。	

